

# 安心フォルダ

マニュアル



Tally Secure Wallet

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社

# 著作権情報

## 保証の否認

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社は、このドキュメントの内容について明示または黙示のいかなる保証または表明も行わないものとし、商品性または特定目的適合性に関する黙示の保証について、あるいは間接損害、特別損害、結果損害について一切の責任を負わないものとします。

## 著作権情報

本書に記載している商標およびロゴはすべて各社の登録商標です。

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社の書面による事前許可なしにこのドキュメントの一部または全部を写真複製、録音などの方法／形態で、複製、検索システムへ保存、他へ転送することを禁じます。また、ここに記載の情報の利用については、特許に関連する法的責務は想定していません。ターリー・セキュア・ウォレット株式会社は細心の注意を払いこのドキュメントを準備していますが、情報の誤りや欠落について、一切の責任を負わないものとします。このドキュメントに記載されている内容と機能は予告なしに変更されることがあります。

## 内容

1	本書について	4
2	安心フォルダの導入	4
	システム要件	4
	アプリケーションの関連付けについて	4
	インストール	7
3	安心フォルダの環境設定	8
	概要	8
	環境設定 (分散対象設定)	8
	環境設定 (セキュリティ)	9
	ワンタイムパスワード認証の設定方法	10
4	安心フォルダの操作履歴	13
5	ファイルの分割と復元	14
	分割方法	14
	復元方法	15
6	安心フォルダのプロパティ	16
7	安心フォルダのバージョン情報	17
8	安心フォルダのバージョンアップ・削除	18
	セットアップファイルを使用したバージョンアップ手順	18
	プログラムを完全に削除する場合	19
9	安心フォルダの使用上の注意	19

# 1 本書について

この度は、安心フォルダをご購入頂きまして誠にありがとうございます。本書は、安心フォルダ 1.0.0 の使用および操作に関するマニュアルです。製品に関してご不明な点などがありましたらサポート先までご連絡下さい。

## 2 安心フォルダの導入

---

### システム要件

インストール前に動作環境が次の要件を満たしていることをご確認ください。

- サポートされる OS: Windows 7、Windows 8/8.1、Windows 10
- 必須モジュール: .NET Framework 4.5 以上がインストールされている必要があります。インストールされていない場合でも、インストールウィザードがインストールの有無を検出し自動的にインストールするように設計されています。
- CPU: 1GHz 以上
- メモリ: 1GB 以上(32bit)、2GB 以上(64bit)
- ハードディスク: 1GB 以上あることが望ましい、但しローカルマシンに断片を保存する場合、そのデータ容量に応じてハードディスクの容量を増やす必要があります。

安心フォルダのバージョンアップの際は、以前のバージョンのプログラムをアンインストールする必要があります。プログラムの削除に関しては後述の章をご覧ください。

---

### アプリケーションの関連付けについて

安心フォルダで分割・復元するにあたり Windows のデフォルト設定では復元できない場合があります。Windows のデフォルト設定では、例えば pdf ファイルは Microsoft Edge、jpg ファイルはフォト、ビデオは映画&テレビにそれぞれ関連付けされています。しかしながら、このデフォルト設定のままでは、安心フォルダがもとに戻したデータを開くために関連するアプリケーションが見つからないという旨のエラーが表示されます。



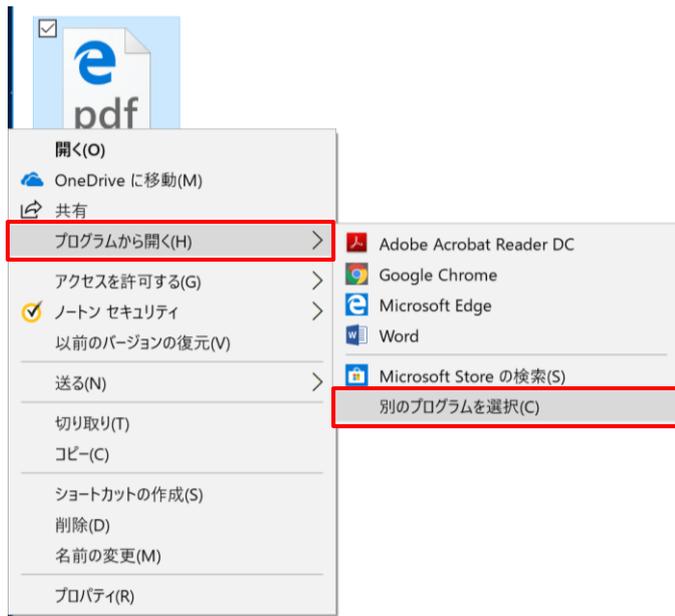
この現象を回避するには、当該ファイルに対してアプリケーションを関連付けし直す必要があります。安心フォルダをご使用になる前に、プログラム関連付けを設定しなおして下さい。他のサードパーティ製のソフトでも構いません。

<設定変更が必要となるファイルタイプと推奨ソフト>

ファイルタイプ	推奨ソフト
PDF ファイル (拡張子: pdf)	Adobe Acrobat Reader DC
画像ファイル (拡張子: jpg、jpeg、png、gif、tif、tiff 等)	IrfanView、QuickTime、 ペイント (Windows 添付)
動画ファイル (拡張子: mpg、mp4 等)	GOM Player、QuickTime、 Windows Media Player (Windows 添付)
音楽ファイル (拡張子: wav、mp3 等)	QuickTime、 Windows Media Player (Windows 添付)
Zip ファイル	Lhaplus

プログラム関連付けの設定方法 (pdf を例に説明します)

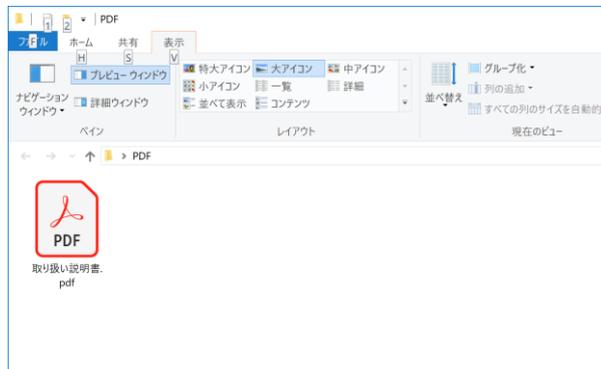
- ① 開きたいファイルを選択し、[右クリック]>プログラムから開く>別のプログラムを選択をします。



- ② 下記画面がでますので Adobe Acrobat Reader を選択し、[常にこのアプリを使って.pdf ファイルを開く]にチェックを入れます。



- ③ 下記のようにアイコンが変われば設定完了です。



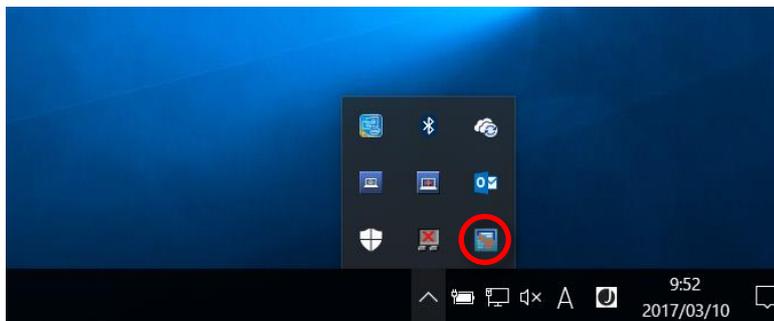
## インストール

安心フォルダをコンピュータ (PC) にインストールします。コンピュータの管理者権限で Windows にログオンして下さい。

- ① セットアップファイルが入ったフォルダを開き、setup.exe (CD のアイコン) をダブルクリックします。



- ② インストールウィザードが起動します。[次へ(N)]をクリックして下さい。
- ③ 安心フォルダのインストール先を指定します。現在表示されている場所 (フォルダー) で問題がなければ[次へ(N)]をクリックして下さい。インストール先フォルダを変更するには、[参照]ボタンをクリックし、フォルダを指定します。
- ④ インストールする準備が整いました。[次へ(N)]をクリックして下さい。
- ⑤ ライセンス条項をお読みにになり、内容に同意頂きましたら、[次へ(N)]ボタンをクリックして下さい。[ユーザーアカウント制御]ポップアップが表示され、「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」が出た場合、[はい]をクリックします。
- ⑥ インストールの進捗を示す画面が表示されます。尚、インストール先のディスクの容量が足りない場合、その旨を通知するメッセージが表示されます。メッセージの指示に従って下さい。
- ⑦ インストールが完了し、デスクトップ上に[安心フォルダ]という名前のフォルダが自動的に作製されます。インストールウィザードで、[閉じる]をクリックして下さい。
- ⑧ タスクトレイに、安心フォルダアイコンがあることを確認します。安心フォルダのご使用前に製品のアクティベーションは不要です。



- ⑨ マシンを再起動します。これで、インストールは完了です。

## 3 安心フォルダの環境設定

### 概要

安心フォルダの割数は3(N-1)、保存先は通常ローカル・クラウドストレージ・USBと固定になります。尚、お客様のご要望により、保存先は変更できます。クラウドストレージサービスは事前にお客様にて個別に契約して頂く必要があります。契約されましたら、そのクラウドストレージサービスのファイル保存用 WebDAV URL、ログイン ID 及びパスワードを弊社に事前にご連絡頂き、弊社にて、保存先設定ファイルを安心フォルダのインストールファイルに入れ込む必要があります。

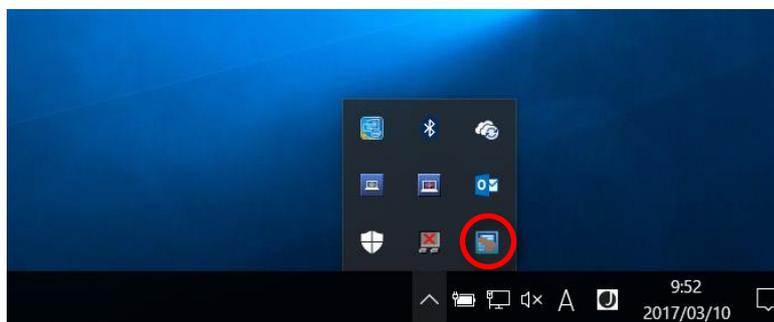
安心フォルダの環境設定には、下記の二つのタブがあります。

- 分散対象設定
- セキュリティ

### 環境設定 (分散対象設定)

分散対象設定では、分割する対象のフォルダやファイルタイプを指定します。分割する対象フォルダは複数作成でき、それぞれのフォルダに個別に拡張子やサブフォルダ設定を指定できます。

- ① 環境設定画面が開いていない場合、タスクトレイの安心フォルダアイコンを右クリックします。



- ② [環境設定]をクリックします。
- ③ 左のペインで、[分散対象設定]タブを選択します。
- ④ 右のペインにて、下記の設定が行えます。

分散保存対象設定リスト: 分割処理を行うフォルダのリストです。このリストにあるフォルダにファイルが置かれると自動的に分割されます。

- 編集: 既存の設定を編集します。
- 追加: 分割処理を行う作業フォルダを新規作成するための下記ウィンドウが表示されます。作成した作業フォルダはリストに追加されます。
- 削除: 既存の設定を削除します。

[追加]ボタンをクリックすると、専用画面が表示されます。ファイルをその中に入れると分割されるフォルダ(作業フォルダ)を[参照]ボタンをクリックして指定します。次に、分割する対象のファイルのタイプをクリックします。これ以外のファイルは、作業フォルダに入れても分割されません。

- 作業フォルダ: 分割処理を行う作業フォルダを指定するには参照ボタンをクリックします。このフォルダにファイルをドロップすると自動的に分割されます。
- サブフォルダも分散保存対象にする: ファイルではなく、フォルダを作業フォルダにドロップした時に、そのフォルダ内のファイルも分割するかどうか指定します。
- 分散保存対象ファイル: 分割するファイルタイプを指定します。選択したファイルタイプのみ分割します。また[ユーザー定義]にチェックを入れ、その下のフィールドに拡張子を入れると、その拡張子を持つファイルタイプも対象となります。複数あればスラッシュ (/) で拡張子を区切って下さい。大文字と小文字は区別されません。
- 保存: 設定を保存します。
- キャンセル: 設定を削除して、元の画面に戻ります。

- ⑤ 設定しましたら、[分散設定保存]ボタンをクリックします。

---

## 環境設定 (セキュリティ)

セキュリティでは、認証設定やファイルの復元パスワード等を指定します。

- ① 環境設定画面が開いていない場合、タスクトレイの安心フォルダアイコンを右クリックします。
- ② [環境設定]をクリックします。
- ③ 左のペインで、[セキュリティ]タブを選択します。

- ④ 右のペインにて、下記の設定が行えます。
- 認証設定: [ワンタイムパスワード認証]を選択すると、安心フォルダにログインする時にワンタイムパスワードを使用します。認証を行わない時は、[認証無し]を選択します。  
他の PC でも閲覧可能にする: 他の端末がショートカットや断片を使用して原本を復元できるようにします。ただし、復元に必要な最低限のファイルにアクセスできることが条件になります。
  - 分散処理時にパスワード使用: ファイルを復元する時にパスワードを設定したい場合にチェックを入れます。
- ⑤ 設定しましたら、[分散設定保存]ボタンをクリックします。

---

## ワンタイムパスワード認証の設定方法

[ワンタイムパスワード認証]の選択時、ワンタイムパスワード認証を使用するには、下記の手順を行います。端末がインターネットに接続していない場合でも使用可能です。

iOS 端末の場合

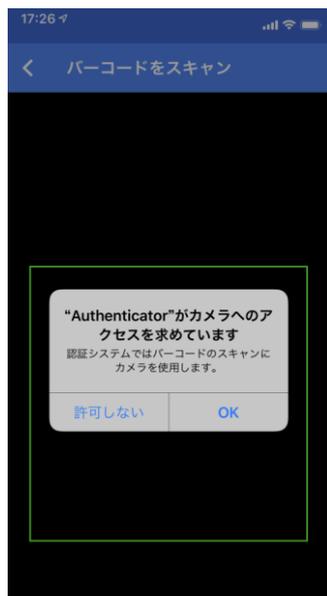
- ① スマートフォン側で認証用アプリをダウンロード、インストールします。iOS 端末で App Store にアクセスします。
- ② 「Google Authenticator」アプリを検索し、ダウンロードします。
- ③ 安心フォルダの[環境設定]画面を開き、[セキュリティ]タブを選択します。
- ④ [2ファクター認証設定]で、[ワンタイムパスワード認証]を選択します。
- ⑤ iOS 端末にて「Google Authenticator」を起動します。[設定を開始]をタップします。



- ⑥ [バーコードをスキャン]をタップします。



- ⑦ 「"Authenticator"がカメラへのアクセスを求めています」にて、[OK]をタップします。



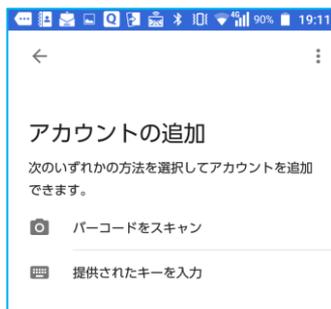
- ⑧ 安心フォルダ画面に表示された QR コードを iOS 端末のカメラで撮影します。
- ⑨ ワンタイムパスワードが iOS 端末上に表示されます。
- ⑩ 安心フォルダの環境設定画面に表示された QR コードの右隣の[検証コード]欄に、この 6 桁の番号を入力します。30 秒でパスワードが変わるため、⑨～⑩を 30 秒の間に完了させる必要があります。検証が失敗する場合、PC とスマホの時間に差がある可能性がありますので、両方の時刻を合わせてからお試し下さい。  
[検証]ボタンを押す前までは、画面右下の設定保存ボタンは無効になっていますが、一旦検証が行われればボタンは有効になり、設定を保存できます。
- ⑪ これで、ワンタイムパスワード認証の設定が完了します。

#### Android 端末の場合

- ① スマートフォン側で認証用アプリをダウンロード、インストールします。Android 端末で Play ストアにアクセスします。
- ② 「Google 認証システム」アプリを検索し、ダウンロードします。本アプリがカメラにアクセスすることを許可して下さい。
- ③ 安心フォルダの[環境設定]画面を開き、[セキュリティ]タブを選択します。
- ④ [2 ファクター認証設定]で、[ワンタイムパスワード認証]を選択します。
- ⑤ Android 端末にて「Google 認証システム」を起動します。[開始]をタップします。



- ⑥ [バーコードをスキャン]をタップします。

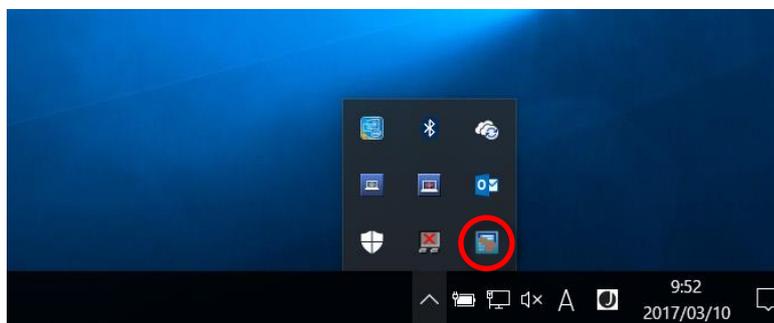


- ⑦ 安心フォルダ画面に表示された QR コードを Android 端末のカメラで撮影します。
- ⑧ ワンタイムパスワードが表示されます。
- ⑨ 安心フォルダの環境設定画面に表示された QR コードの右隣の[検証コード]欄に、この 6 桁の番号を入力します。30 秒でパスワードが変わるため、⑨～⑩を 30 秒の間に完了させる必要があります。  
尚、[検証]ボタンを押す前までは、画面右下の設定保存ボタンは無効になっていますが、一旦検証が行われればボタンは有効になり、設定を保存できます。
- ⑩ これで、ワンタイムパスワード認証の設定が完了します。

## 4 安心フォルダの操作履歴

安心フォルダで分割した処理内容の情報を履歴として表示します。

- ① タスクトレイの安心フォルダアイコンを右クリックします。



- ② [分散保存履歴]をクリックします。
- ③ 履歴画面が表示されます。

画面上部のラジオボタンで選択した範囲での処理の履歴をリストに表示します。目的の表示範囲をラジオボタンで選択するか[指定日]を選択した場合は、隣のカレンダーで目的の日付を選択します。

下段のリストには、その範囲での実行ユーザー名、分割日時、処理内容、分割したファイルのパスが表示されます。

履歴の表示には【分割】【仮分割】【ファイル削除】【ファイル上書き保存】【ファイル移動】【ファイル名変更】【名前付けて保存】【ファイル開く】があります。

【分割】は、設定した保存場所すべてに正常に断片が保存された場合に表示されます。

【仮分割】とは、設定した保存場所がアクセス不能な場合に、断片を一時的にコンピュータ内部のセキュリティが確保されている場所に保存し、設定した保存場所にアクセスが可能になった際、その保存場所に断片を移動します。尚、断片が正しい保存場所に移動されるまでファイルを復元する事はできません。

【ファイル削除】は、ショートカットや分割したデータの一つを削除した場合に表示されます。

## 5 ファイルの分割と復元

### 分割方法

ファイルを作業フォルダに入れると、断片に分散します。分割後は、ショートカットが作成され、原本のファイルは削除されますのでご注意ください。

- ① デスクトップ上に生成されている「安心フォルダ」フォルダや、環境設定で指定した作業フォルダの中に、分割したいファイルをドロップすると、自動でそのファイルが「環境設定」の章で設定された設定に基づき分割されます。
- ② 予め設定されている場所に保存されます。
- ③ フォルダ内では、下図のようにショートカットが表示されます。



ファイルを分割する上で必要最低限の保存場所にアクセスできない場合（例：設定したネットワークドライブにアクセスできない等）、ファイルは仮分割されます。仮分割とは、設定した保存場所がアクセス不可の場合に断片を一時的にマシン内部のセキュリティが確保されている場所に保存し、設定した保存場所にアクセスが可能になった際、その保存場所に改めて断片を移動する機能です。

ショートカットを削除しても保存場所にある断片は削除されません。

## 復元方法

安心フォルダの環境設定で指定した作業フォルダには、前節で述べたようにショートカットが作成されています。復元処理はこのショートカットをダブルクリックすることで行います。復元処理には時間がかかる場合があります。

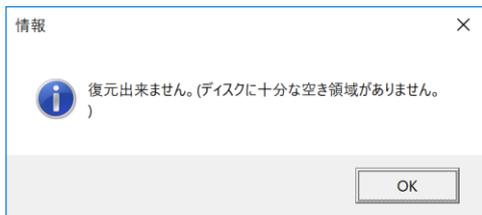
### <復元処理の概要>

- 開きたいショートカットをダブルクリックします。
- 安心フォルダが分割時に設定された保存場所から断片を収集します。
- 安心フォルダが断片データから元のデータに復元します。
- Windows へ復元されたデータを引き渡します。
- Windows は本データをあらかじめ関連付けられたアプリケーションで開きます。関連するアプリケーションが見つからない場合にはエラーになりますので、第2章の手順に従いアプリケーションの関連付けをし直して下さい。

ファイルの内容を編集後、上書き保存するとファイルは再度分割されます。もし、復元に必要なすべての断片が揃わない場合、下記のメッセージが表示されファイルを復元できません。



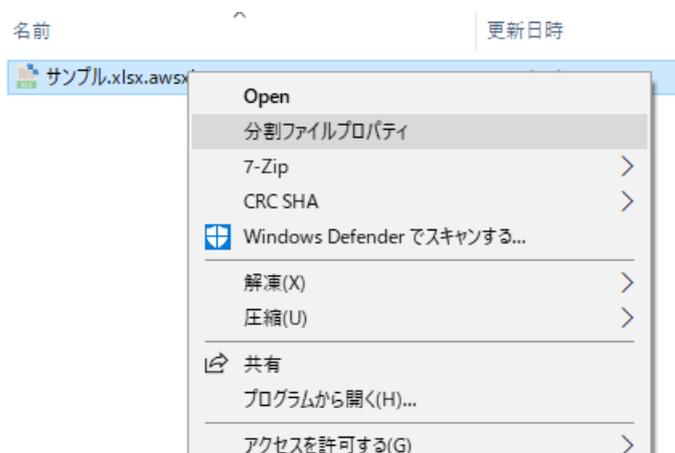
復元先のディスクの容量が足りない場合、下記のメッセージが表示され、復元できません。



安心フォルダで秘密分散処理されたデータを他のユーザーでも共有したい場合、作成されたショートカットを引き渡すことで可能となります。ただし、その場合には、環境設定 (セキュリティ)の[他の PC でも閲覧可能にする]を有効にしてください。

## 6 安心フォルダのプロパティ

安心フォルダに入っているショートカットを右クリックし、[分割ファイルプロパティ]を選択すると、保存先やファイルに関するプロパティが表示されます。



プロパティでは、原本 (元ファイル) のファイルハッシュや原本ファイルサイズ、復元可否 (復元に最低限必要なファイルを取得できるかどうか) 等が確認できます。[割数]、[復元オプション]、[割り方]は固定となります。

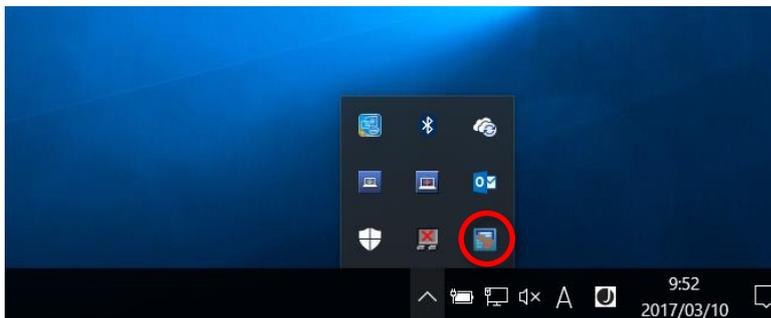
プロパティ	値
ファイル名	C:\Users\sai\Desktop\安心フォルダ\サンプル.xlsx.awsxls
復元可否	可能
パスワード	無し
割数	3
復元オプション	分割したファイルが1個なくても復元できるように割る
割り方	均等割
共有可否	他のPCで復元可能
作成者	MACBOOK-SAI / SYSTEM
作成日	2019/11/29 16:25:02
原本ファイル名	C:\Users\sai\Desktop\安心フォルダ\サンプル.xlsx
原本ファイル更新日	2019/11/29 15:39:07
原本ファイルハッシュ	3C69BE7E45EBB871827D8A7531FC594718023575(SHA-1)
原本ファイルサイズ	8.37 KB
割る時の保存場所	No.01 【ローカルHDD】
	No.02 【WebDAV】
	サンプル.xlsx.1911291625028012B.awdat
	No.03 【WebDAV】
	サンプル.xlsx.1911291625028012C.awdat

保存先にアクセスできない場合は、割る時の保存場所の該当場所が赤で示され、一時的にローカルに断片を置く、仮保存となります。一旦保存場所にアクセスできる状態になれば、その断片は本来の保存場所へと送られます。

## 7 安心フォルダのバージョン情報

現在インストールされている安心フォルダのバージョン情報を表示します。

- ① タスクトレイの安心フォルダアイコンを右クリックします。



- ② [バージョン情報]をクリックします。
- ③ バージョン情報が表示されます。

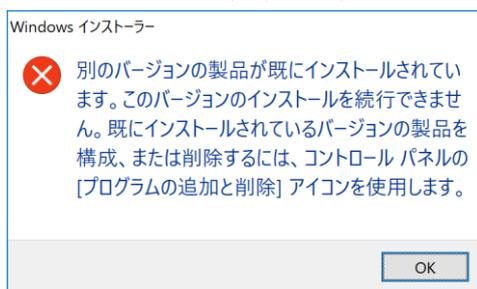
## 8 安心フォルダのバージョンアップ・削除

### セットアップファイルを使用したバージョンアップ手順

安心フォルダセットアップファイルを使用して、安心フォルダをバージョンアップするには、下記の手順を行います。

- ① 新しいバージョンの安心フォルダのセットアップファイルを入手し、手元に置いておきます。
- ② 現在安心フォルダの画面を開いている場合は閉じて下さい。
- ③ Windows で、コントロールパネル等から、使用バージョンの安心フォルダのアンインストールを行います。

もしアンインストールせずに新バージョンをインストールしようとした場合、下記のエラーメッセージが表示され、インストールが停止されます。



- ④ アンインストール中に、「インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了する必要があります」という旨の画面が表示されることがあります。この場合、[セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する]を選択し[OK]ボタンをクリックします。アンインストール後は、コンピュータを再起動します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御のポップアップが表示されることがあります。その場合、[はい]をクリックします。
- ⑥ 「関連設定ファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、[いいえ]を選択します。これにより、ユーザー情報、環境設定情報、ライセンスキーはそのまま引き継がれます。ライセンスキーはアクティベーション解除しなくても構いません。設定情報を含め完全に削除したい場合は[はい]を選択します。
- ⑦ アンインストールが完了します。

- ⑧ 新しいバージョンの安心フォルダセットアップファイルを実行し、インストールします。インストール後、環境設定のし直しは不要です。

---

## プログラムを完全に削除する場合

上記の手順で、アンインストールの途中に表示される「関連設定ファイルを削除しますか？」というメッセージに対し、[はい]を選択します。これにより、設定ファイルも削除されます。削除が完了したら、コンピュータを再起動します。

## 9 安心フォルダの使用上の注意

- 安心フォルダにファイルをドロップすると、直ちにファイルが分割され、原本が削除されます。
- コンピュータがスリープ状態になると復元されたファイルが削除され、復元前のファイルの状態に戻ります。
- デスクトップ画面の右下のタスクトレイに安心フォルダのアイコンがない場合には、コンピュータを再起動するか、インストールフォルダにある「AnsinFolder.exe」を起動します。
- 作業フォルダを設定すると、既にそのフォルダ内にあるファイルは自動的に分割されてしまいます。既存のフォルダを作業フォルダに指定する際には十分にご注意下さい。
- 安心フォルダのショートカットのバックアップや環境設定等のバックアップは、必ずユーザー様の責任において行って下さい。弊社ではこの責任は負いません。
- PC からすべての保存先にアクセスができる状態にしてから本製品をお使い下さい。アクセスできない保存先がある場合、分割の状態は仮分割となり、指定された保存先ではなく、ローカルに一時的に保存されます。仮分割された状態でもファイルは復元できます。